

2016年度 事業計画

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

伝統のかおり 高き学園を目指して

学校法人 修道学園

2016年度 学校法人修道学園事業計画

＜法人本部＞

主要項目	具体策	所管部局	実施月
1 法人運営の充実	(1)ガバナンスの強化	法人事務局	年間
	(2)三様監査の充実	法人事務局	年間
	(3)鈴峯短大のスムーズな廃止	法人事務局	年間
2 資産の運用	(1)大学部 運用目標5億円	法人財務課	年間
3 施設の整備	(1)大学部 9号館の完成	法人財務課	12月
	(2)中高部 プールの建替	法人財務課	3月
	「修道学問所之蔵」の文化財申請	法人財務課	7月
4 その他	(3)鈴峯中高部 校舎建替の設計図完了	法人財務課	3月
	(1)学園創始300年に向けて 諸事業の準備	法人事務局	年間

2016年度 学校法人修道学園事業計画
< 広島修道大学 >

主要項目	具 体 策	所管 部局	実施月
I.法人の合併			
1 合併等への対応	①鈴峯女子中・高の人事給与システム構築 ②合併に伴う給与是正準備 ③合併に伴う鈴峯女子短大同窓会への対応の検討	総務部	通年
II.教育組織・教育支援体制の構築			
1 新学部・新学科・改組の推進	①教職員採用計画の作成 ②人件費の検討	総務部	10月 通年
2 新学部学科設置	①国際コミュニティ学部の設置届出準備(ニーズ調査・事務相談等) ②寄附行為変更認可申請 ③健康科学部実地調査(厚生労働省)への対応	総合企画課 ，総務部	6月・10月 6月 12月
3 教育組織の検討・充実	①臨床心理士養成施設指定申請と開設準備及び公認心理師資格への対応準備 ②広島修道大学臨床心理相談センターの開設準備	総合企画課 ，人文科学 研究科	通年
4 教育支援体制の充実	①IR等の新たな支援業務の検討	総合企画課 ，教学C	通年
5 研究支援体制の充実	①新しい教員データベースの導入及び関連部局を含めた円滑な活用実施	ひろみらC	9月
III.教育課程－新カリキュラムの策定と新学事暦の導入			
1 新カリキュラムの策定	①4学期制、カリキュラムマップ、ナンバリング等を踏まえた2017年度新カリキュラムの策定	教学C	通年
2 全学的キャリア教育の企画・開発	①(仮称)キャリア教育セミナーの開催 ②キャリア教育運営委員会の機能充実 ③インターンシップのキャリアセンターへの統合検討	キャリアC 教学C, キャリアC	通年
3 学年暦の検討	①新カリキュラムに対応する新たな学年暦の検討	教学C	通年
4 EXプログラム(学外での長期体験学習による学びへの意欲向上をめざすプログラム)の導入	①海外プログラムの検討 ②中長期ボランティアプログラムの検討 ③長期インターンシッププログラムの検討 ④学生の自主活動(自己申告型)支援プログラムの検討	国際C, ひろみらC, キャリアC, 教学C, 学生C	通年
5 新カリキュラムにおける全学共通の情報教育の検討・実施	①17カリキュラムにおける全学共通の情報教育の教育内容(授業計画)の検討 ②17カリキュラムにおける全学共通情報教育を検証する手法の検討	情報C	通年
IV.学生の受け入れ－外部環境の変化への対応			
1 入試制度改革	①健康科学部心理学科・健康栄養学科の入試制度、受験科目、入試日程等検討 ②公募推薦入試の制度検討 ③地方試験場の検討 ④修大附属鈴峯女子高校からの附属校推薦入試枠等の検討 ⑤広島修道大学総合入試(2年次から学部学科に移行)の検討	入学C	4月
2 インターネット出願及び入学手続の促進とデータの活用	①入学センター、学生センター、教学センターの連携によるインターネット入学手続の導入(学生基本データ及び学生記録用入学手続き入力項目を確定し教学システム(AS)への取込、出力様式等を確定)	入学C, 学生C, 教学C	3月
3 新学部・新学科の学生募集活動	①健康科学部心理学科、健康栄養学科の学生募集活動実施	入学C	通年

主要項目	具 体 策	所管 部局	実施月
V. 学生支援・学習支援			
1 学生生活支援の充実	①地縁によるつながりの強化(下宿新生生の対象を拡大し懇談会を実施)	学生C	4月
2 障がいを持つ学生への支援	①障害者差別解消法に基づく障がいを持つ学生への支援体制の整備	学生C	通年
3 交通安全の徹底	①駐車・駐輪環境の整備と安全講習(二輪車の実技指導を含む)の実施	学生C	通年
4 学生の危機管理意識の向上	①法令順守の意識向上のための研修会の開催	学生C	通年
5 サークル活動への支援	①顧問・学生・学外指導者の三者によるサークル懇談会の充実	学生C	通年
6 学内禁煙体制に向けての取り組み	①学生喫煙率上昇の抑制(1年次生の予防)	学生C	通年
7 進路・就職支援の強化	①就職内定率90%以上をめざしたガイダンスや各種セミナー等の実施 ②卒業生フォーラムの充実 ③広島経済同友会との連携:企業見学バスツアーの実施	キャリアC	通年 3月 8月・2月
8 奨学金・スカラシップの見直し	①学生の学びへの意欲向上を目的とした成長支援奨学金の検討・導入 ②資格表彰・資格取得スカラシップ対象の在り方(受験料補助、単位認定、記念品贈呈、奨学金給付等)に関する検討及び改善の実施	学生C キャリアC	5月 8月
9 学習支援体制の整備・拡充	①2017年度カリキュラム改正に向けての修大基礎講座に関する枠組みの精査及び実施態勢の確定 ②2015年度試行した「フォローアップ面談」の継続、枠組みの検証及び2017年度以降の本格的な運用に向けての態勢整備 ③教職員に対するセンターの機能周知 ④学科・専攻教員と連携した初年次生の学科・専攻の学びに対する不安を解消するためのハンドアウト作成	学習支援C	通年 5月・11月 通年
10 学習支援のための学習ピアの養成	①まなびコモンズへの学生スタッフ配置の検討	学習支援C 国際C	通年
11 協創館における学習環境の整備・拡充	①まなびコモンズ、まなびホールの使用実態をふまえた各使用規程の改正検討	学習支援C 国際C	通年
VI. グローバル化への対応と地域社会の課題解決に取り組む人材の育成			
1 国際センター組織改革による教育支援体制の整備・グローバル化の推進	①教育機能の強化と業務分担(教職員)の見直し ②グローバル科目カリキュラムの策定(カリキュラム編成、履修要項の作成) ③グローバルコースの運用と検証(1期生、2期生、3期生)及びコース設計の見直し ④グローバルキャンパス化に向けた検討(iCafeの活用と課外交流活動の促進) ⑤ 中高大連携によるグローバル教育の検討	国際C	通年
2 海外留学プログラムの検証と再構築	①各協定大学との関係強化 ②交換留学プログラム、海外セミナー(短期・中期・長期)の見直しと整理 ③留学支援教育との連携による派遣促進(2017年度に向けた準備)	国際C	通年
3 ひろみらプロジェクト(COC事業)の充実と検証	①サービスマーケティングの実施、内容検証及び後期・次年度の準備 ②ポर्टランド・グローバル・イノベーションセミナーの実施及び教育効果の向上とリスク管理の検証 ③地域イノベーションコースの検証と新学科への接続検討 ④ひろみらプロジェクト4年間の検証実施	ひろみらC	通年
4 地域社会との連携	①地方公共団体、経済団体等との包括連携協定締結と地域連携の強化 ②締結した協定に拠り、研究・教育・まちづくり・人材育成・生涯学習等について協働の推進	ひろみらC	通年

主要項目	具 体 策	所管 部局	実施月
VII 財政・施設設備の充実			
1 9号館の建設	①12月の建物竣工に向け工事の進捗監視、設計者、施工者との協議 ②建物引渡し後、備品等を搬入し厚生労働省の実施検査を受ける ③2017年4月の供用開始に向けた最終調整	財務部	12月 2月 3月
2 学内施設計画営繕工事の実施	①広島修道大学臨床心理相談センターの開設に向けた4号館の改修 ②クラブハウス施設(体育局・文化局)の改修	財務部	12月 3月
3 キャンパスマスタープランの策定	①9号館竣工後の校舎建替計画・計画営繕事業の策定 ②上記計画に伴う第2号基本金組入計画の策定	財務部	3月
4 事務システムの改善	①出張申請システムの構築検討	総務部	通年
5 事業所内保育施設設置	①事業所内保育施設のニーズ調査・設置検討	総務部 財務部	通年
6 情報環境の整備	①図書システムをWindows版からWeb版に変更し、クラウド方式を取り入れた運用の実施 ②現在接続している電子系資料、資料検索ツールなどのアクセス数の検証及び費用対効果に基づいた見直し実施 ③2011年度導入のシングルサインオンシステム、2012年度導入の教育用alphaサーバシステム及び2013年度導入の学認システムの統合(2017年度予定)に向けた概略設計の実施 ④ハードウェア資源及び関連する保守の検討	図書館 情報C	通年 通年
7 図書館内の資料移設並びに鈴峯からの資料移設	①積層の2、3層にある資料を1～3層に延伸 ②新館1階書庫の資料の整理 ③鈴峯からの雑誌の移設に向けた新館1階書庫の和雑誌資料の再配置実施 ④鈴峯からの資料8000点の移設・整理(2017年1月頃に予定されている健康栄養学科実地視察に備える。)	図書館	通年 12月
VIII 自己点検・評価			
1 認証評価申請準備	①第三期認証評価に向けた体制の確立・データ整備	総合 企画課	通年
2 IR機能の充実	①大学基礎数値、教育成果指標等の整理・検討 ②授業アンケート実施方法の改善と結果分析 ③IRシステムの安定稼働と活用	総合 企画課	通年
IX 本学を取り巻く人々と連携した戦略的な広報展開			
1 戦略的広報の推進	①入学センター・同窓会等との広報連携の検討と実施 ②マスコミとの連携強化の検討と実施 ③広報の規模・媒体・時期・内容の再構築(計画立案)実施	総合 企画課	通年 9月
2 本学を取り巻く人々との連携推進	①同窓会との連携強化策の検討 ②卒業生への情報発信強化 ③寄附事業の創出	総務部	通年
X 附属鈴峯女子中高・鈴峯女子短大との連携			
1 附属鈴峯女子中高との連携強化	①附属鈴峯女子中・高の学習支援の推進 ②附属鈴峯女子中高改革プロジェクトの推進 ③附属鈴峯女子中高とのクロスキャンパスの推進 ④附属鈴峯女子中高との広報連携の推進	入学C, 総合 企画課	通年
2 鈴峯女子短大の運営	①鈴峯女子短大の廃止に向けた円滑な運営	総合 企画課	通年

2016 年度 学校法人修道学園 事業計画

<鈴峯女子短期大学>

主要項目	具体策	所管部局	実施月
<p>I 三つの教育方針に基づいた短期大学士力の伸長</p> <p>1. 学長、副学長、センター長、学科長を中心として、学習成果を検証し、きめ細かく分かりやすい教育の実践</p> <p>II 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業の全学的取組の継続とさらなる発展</p> <p>1. ベルキャリア推進委員会を核に、産業界等との連携による人材育成事業の実施により「社会につながる力」を備えた人材の育成</p> <p>2. 地域産業界等との連携を重視した実践的教育プログラムの改善・充実</p>	<p>① ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいた教育の推進、点検を行う。</p> <p>② 到達度を測る指標案に従って、学生自身が学習成果目標の到達度を把握するよう指導する。</p> <p>③ 「学士の質保証」を図るため、各種試験について、理解レベルおよび合格率の向上を目指す。</p>	<p>教育研究委員会</p> <p>教育研究センター</p> <p>各学科</p>	<p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>
	<p>① ポートフォリオを効果的に活用し、学生が自らを振り返りながら成長できるよう指導する。</p> <p>② 教育課程外活動とその活動によって得られる学びの重要性を学生に理解させ、率先して社会に出ていくよう指導する。</p> <p>③ 各種学内行事、ボランティア活動を通じて、企画運営力を育成し、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」などの力をつけさせる。</p>	<p>ベルキャリア推進委員会・各学科</p> <p>教育研究センター</p> <p>教育研究センター</p>	<p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>
	<p>① これまで連携してきたテーマ 3. サブグループ1の5大学との連携合宿授業の改善・充実を行う。</p> <p>② 卒業研究や保育内容研究等における地域との連携を重視した実践的教育プログラムを継続する。</p> <p>③ 産業界等で活躍している卒業生と在学生との交流会を実施し、社会が求める人材像を理解させ、実践へと繋げる。</p> <p>④ 学科で選択必修としている基礎科目の「ボランティア学習」または「インターンシップ」により、学生の社会・地域と繋がる力を育成する。</p>	<p>ベルキャリア推進委員会・キャリア創造学科 各学科</p> <p>食物栄養学科</p> <p>キャリア創造学科</p>	<p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>

主要項目	具体策	所管部局	実施月
Ⅲ 多様な学生の課題への教職員の連携による取組 1. チューター制による学生へのきめ細やかな対応の強化 2. 学生の就職を支援するため、就職先開拓など教員と就職課の緊密連携と指導強化 3. 学生自治会の運営・行事等に対する教職員の支援 4. 学生生活アンケートによる学内の教育環境の改善 Ⅳ 教育目標・財務目標の達成に向けた自律的な学校運営 1. 学科、センター、委員会の役割を踏まえた課題への自律的対応 2. PDCA的思考での業務・会議運営	①各学科内での連絡を密に行い、学生へのきめ細やかな対応を強化する。 ② 定期的な個人面談を通して、複数在籍する要支援の学生をサポートし、また、一定の割合を占める社会人学生と通常の学生とのより効果的な交流を促す。 ③特別に支援の必要な学生については、年度初めに各学科で調査し、必要に応じて特別支援チームを組織してカンファレンスを実施し、2017年3月に卒業できるように組織的に支援していく。	教育研究委員会 各学科 各学科	年間 年間 年間
	① これまで実施してきた各種就職ガイダンス・セミナー等を継続実施する。	就職委員会	年間
	② 全教員が、1社でも2社でも企業を訪問するよう、また、従来の方法(各学科関連企業・施設分担訪問)に加え、他の出張等を利用し、企業等に求人募集を行うよう依頼する。	就職委員会	年間
	③ 全教員が、校外実習の巡視の際に、当該学科の職域だけでなく、関連学科の職域についても求人を依頼する。	就職委員会	年間
	④ 就職課とチューター間で定期的な情報交換を行う。	就職委員会	年間
	⑤ 全教員による学生の就職活動への指導と学生からの活動状況報告の徹底を図る。	就職委員会	年間
	① 自治会への入会、その行事等への参加について、チューターを中心として積極的に呼びかけを行う。	学生委員会	年間
	① 学生生活アンケートの実施とその結果に基づく教育環境の改善に向けた勉強会を実施する。	自己点検・評価委員会	年間
	① 学科、センター、委員会等の活動状況の把握と学内における協力体制を維持する。	部科長会	年間
	② 図書・図書館利用の促進のためにイベントを実施する。	メディアセンター	年間
	③ 学生の情報処理スキルの向上を支援する。	メディアセンター	年間
	① 各学科、センター、委員会の事業計画の作成、計画の遂行、事業計画報告書の点検・評価をする。	自己点検・評価委員会	年間
	② 個別授業アンケート、公開授業、授業参観を通じて改善を行う。	FD委員会	年間
	③ 意見箱を設置し、必要に応じて担当者に提示し、改善の検討を依頼する。	部科長会	年間

主要項目	具体策	所管部局	実施月
V 連携事業の推進			
1. 地域社会との連携や積極的な情報発信	<p>① ウェブサイトによって情報をタイムリーに発信する。</p> <p>② 「すずらん」を読みやすくする。</p> <p>③ オープンカレッジアーカイブスを更新する。</p>	<p>広報委員会</p> <p>広報委員会 生涯学習センター</p>	<p>年間</p> <p>年間 年間</p>
2. 保護者・地域からの信頼に応える。	<p>① 6月に教育懇談会を実施し保護者との連携を深める。</p> <p>② オープンカレッジの実施など短期大学の蓄積ノウハウを地域社会へ還元する。</p> <p>③ 地域住民との交流会、他大学や行政との連携による地域に貢献する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携事業、広島かき PR 事業の実施 ・鈴かふえ(学生による手作りレストラン)の実施 ・子どもお菓子くらぶ(公民館活動)の実施 ・地域高齢者への配食サービス ・広島市内デパートで開催される広島ケーキショーへの参加 ・広島市教育委員会主催の食育活動に参加 ・広島市植物公園での地域食育活動の実施 <p>④ あそびの出前(広島市西区子育て支援事業への参加)や出前保育(広島市佐伯区公立保育園子育て支援事業への参加)をはじめ、本学主催の子育て支援イベント「りんりん♪こどもフェスタすずがみね」を開催し、地域の子育て支援活動の一環を担う。</p> <p>⑤ 地域の教育・保育施設と連携し、子育て支援活動を実施することで、保育教材開発の成果や指導法についての提示を行う。</p> <p>⑥ 学生が主体となって地域の公民館、インターナショナル・プレ・スクールなどにおいて、キッズイングリッシュ、英語の絵本の読み聞かせを実施し、社会・地域と繋がる力を育成する。また、「りんりん♪こどもフェスタすずがみね」において地域の子供に英語の歌やゲームを通じて英語の楽しさを伝える。</p>	<p>教務委員会</p> <p>生涯学習センター</p> <p>生涯学習センター 食物栄養学科</p> <p>食物栄養学科 食物栄養学科 食物栄養学科</p> <p>食物栄養学科 食物栄養学科 保育学科</p> <p>保育学科</p> <p>キャリア創造学科</p>	<p>6月</p> <p>年間</p> <p>年間 年間</p> <p>年間 12月・1月 5月</p> <p>年間 年間 年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>
VI 広島修道大学との連携			
1. 新設の教育学科の教育の推進	<p>① 広島修道大学「教育学科」のカリキュラムのスムーズな運用に努力する。</p>	<p>教育研究委員会 ・保育学科</p>	<p>年間</p>
2. 食物栄養学科の教育・伝統を進化させた新学部の構想の検討と設置に向けての準備	<p>① 広島修道大学の新学部・新学科構想と連携した四大化を推進する。</p>	<p>教育研究委員会 ・食物栄養学科</p>	<p>年間</p>
3. 広島修道大学への移転	<p>① 教育研究機器備品、図書・雑誌などを広島修道大学へ円滑に移動する。</p>	<p>部科長会・メディアセンター・図書・情報委員会</p>	<p>年間</p>

主要項目	具体策	所管部局	実施月
Ⅶ 短期大学の廃止 1. 短期大学の廃止に向けての準備	① 短期大学・学科等の廃止に向けての諸手続きを円滑に実施する。 ② 短期大学の廃止に伴う行事等を検討し、実施する。	部科長会・庶務課 部科長会・庶務課	年間 年間

2016 年度 学校法人修道学園 事業計画

<修道中学校 修道高等学校>

【教員の部】

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I. 学力の向上	1. 大学進学実績の向上 ①大学入試改革を見据え、進学実績向上のために必要な新しい学力を向上させるために、各教科の授業改善、教員間の連携等について関係部署と協議しながら推進する。 ②数値目標の達成に必要な各部署の課題を明確化し、定期的にその解決の状況を確認する。 ③教科会の運営方法を見直し、教科主任の業務内容と裁量を見直す。 ④東大20名以上合格を数値目標として、志望者の増加に向け、生徒に対する進学指導、模擬試験対策、進学情報提供を強化する。また、東大・京大・医学部対策室を引き続き設置する。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐 中学教頭・高校教頭・教頭補佐 中学教頭・高校教頭・教頭補佐 進路部	通年 通年 通年 通年
	2. 学力観の見直し ①大学入試における新しい評価のあり方について、多様な評価基準を模索し、本校に導入できる評価方法について考察を深めるために、文部科学省からの情報や各種情報誌、セミナーを通して情報を収集する。 ②2015年度に改訂した評価内規と2016年度から使用開始となる新教務システムをリンクさせながらより精錬されたものに進化させることで、初級中級上級の三段階構想を高いレベルで継続していく。 ③新教務システムの運用開始を皮切りに、校内ネットワーク・ICT関連の整備を徹底し、新しい学びを推進するための研究を引き続き行う。	教務部 教務部 中学教頭	通年 通年 通年
	3. 学習意欲の向上 ①1・2年のセミナー合宿を実施する。 ②4年の東大見学ツアーを実施する。 ③5年の東大・京大セミナーを実施する。 ④中級からの成績優秀者を顕彰する。 ⑤6年の到達度別クラス編成を実施する。	進路部・担当学年 進路部・担当学年 進路部・担当学年 教務部・担当学年 教務部・担当学年	8月 8月 8月 通年 通年

主要項目	具体策	所管部局	実施月
II. 国際理解教育の充実	1. 関連行事の実施 ①グローバル人材教育を推進するために、従来の国際理解教育に関わるイベントの見直しを進める。 ②3年生の希望者によるオーストラリア海外研修を実施する。 ③4年のスキルアップ講座の内容を見直し、実施する。 ④3・4年生の希望者によるエンパワーメント・プログラムを実施する。	育成部・教頭補佐 育成部・教頭補佐 育成部・教頭補佐 育成部・教頭補佐	通年 7月・8月 8月 12月
III. 倫理観の向上	1. 規範意識や倫理観の育成 ①遅刻指導, SNS 利用におけるマナー指導を学年と連携して強化する。 ②登下校時の指導等を通して, 交通安全に対する意識の向上, 公共交通機関利用時のマナーの向上を目指す。挨拶の励行を促進する。 ③清掃指導や保健指導を通して, 美化や健康に対する意識を向上させる。 2. 自治向上の精神の育成 ①生徒の主体性を重視した生徒会活動や班活動を通して, 創造力や忍耐力, 協調性を育む。	生徒部 生徒部 生徒部 生徒部・高校教頭・教頭補佐	通年 通年 通年 通年
IV. 教育力の向上	1. 人事考課の実施 ①校長面談において確認された各教員の単年度目標の機能的展開が可能となるように「個人事業計画書」を吟味し、その計画の実現に向けて、適宜現場での人事配置、業務改善を図る。 ②人事考課が公正に行われるよう、多角的なデータの収集を図る。 2. 教員研修の充実 ①文部科学省が掲げる「教育の情報化による学びのイノベーション」に本校として対応するため、アクティブラーニング形式の授業とも絡めながら、協働学習や反転学習に生徒用パソコンを導入した場合を想定した調査研究をおこない、適切な教員研修のあり方を探る。 ②校内で実施される初任者研修を見直し、システム化する。	中学教頭・高校教頭・教頭補佐 高校教頭 教務部・中学教頭・高校教頭・教頭補佐 中学教頭・高校教頭・教頭補佐	通年 通年 通年 通年

主要項目	具体策	所管部局	実施月
V. 生徒募集の充実	1. 広報活動の工夫 ①受験生参加型の入試説明会を充実させ、受験生の志望意識を刺激する。	育成部・中学教頭	通年
	2. 在籍生徒からの発信 ①在籍している生徒の満足度を校外に発信する具体策を検討し、来年度の募集活動として年度内に実施する。	育成部・中学教頭	通年

【職員の部】

主要項目	具体策	所管部局	実施月
I. プール建替工事の実施	老朽化に伴い、使用が困難となつてきているプール（附属棟を含む。）を建て替え、教育環境を整備する。	庶務課	3月
II. 修繕計画の作成と修繕の実施	築後10年以上経過した建物の修繕計画作成と修繕の実施。	庶務課	12月
III. 「修道学問所之蔵」の文化財申請	広島市重要有形文化財指定申請書を作成し、申請を行う。	庶務課	7月
IV. 寄付金募集	恒常的な寄付金募集について検討する。	庶務課	通年
V. 創始300年に向けての学園史編纂作業	編纂作業計画、企画、体裁、校正等を検討する。	庶務課	通年
VI. 財政の健全化	消費増税に伴い、支出の削減と収入の増加について具体的方策を検討し、財政計画の策定を行う。	財務課	通年
VII. 奨学金制度の充実	奨学金制度について、2019年度から実施予定のフューチャー・リーダーズ・プログラムの実施に伴い、保護者の経費負担増に対応するため見直しを行う。	財務課	通年

2016年度 学校法人修道学園 事業計画

<広島修道大学附属鈴峯女子中・高等学校>

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
I 「目標管理」を原理とした自律的学校経営体制の展開 1. 学校組織全体に「目標の連鎖」が成立している。	①広島修道大学附属学校として、学校改革を組織的・計画的に推進	管理職	年間
	②事業計画をブレークダウンした学校経営計画の作成と円滑な校務運営	管理職	年間
	③全教職員による自己申告書の提出と管理職によるヒアリングの実施	管理職	5月・10月
	④学校経営計画の評価結果の分析及び改善方策の策定と実施	各部長	10月
2. 部長・主任を中心として、各部・学年・コース・教科が自律的に校務を運営している。	①年間を見通した各経営計画の作成と円滑な校務運営	各部・中学・学年・特進コース・教科	4月
	②各分掌、中学、学年、コース、教科の各経営計画の評価結果の分析及び改善方策の策定と実施	部長・中学・学年・特進コース・教科	10月
II 適切な教科マネジメントの展開による学力の伸長			
1. 生徒の希望進路を実現するための方策が充実し、進捗状況の相互確認が年間を通じて行われている。	①特進コース 受験科目の指導強化	教務部・特進主任・教科	年間
	②文理コース・文理選択 文理コース・文理選択として統一性を持った進路指導と受験科目の指導強化	教務部・高3・高2学年主任・進路部・教科	年間
	③総合コース 各系の目標に応じた進路指導の充実	教務部・高3学年主任・進路部・教科	年間
	④グローバル選択 選択科目を通じた希望進路の焦点化	教務部・高2学年主任・進路部・関係教科	年間
2. 習熟度別授業の充実により学力の向上が図られている。	①高校1学年の習熟度別授業の充実による学力の向上	教務部・高1学年主任・数学科・英語科	年間
	②中学の習熟度別授業の充実による学力の向上	教務部・中学・数学科・英語科	年間
	③中学生の英検取得率の向上	英語科・中学	年間
3. 受験学力の伸長を図るための教科マネジメント	①生徒の進路希望の実現に必要な方策（模試対策・朝学習・週末課題・	教務部・進路部・教科	年間

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
トが適切に推進されている。	小論文指導等)と授業の内容がリンクした教科シラバスの作成及び進捗状況の把握と評価		
4. 教科指導力の向上が絶えず組織的、計画的に図られている。 【重点事業】	②宅習記録、宿題、週末課題、朝学習による家庭学習の習慣化の徹底	教務部	年間
	①教務部教育研究担当を中心に、教科指導力向上に係る技術、情報の普及	教務部	年間
	②教科指導方法の改善に係る校内研修 (ICT 関連も含む) を年 3 回実施し、校外研修会にも計画的に参加	教務部	年 3 回
	③国語・社会・数学・理科・英語の学力の伸長と教科指導の工夫・改善及び教科指導力の向上のために、広島修道大学との連携による研修会を定期的実施	教務部・教科主任 (5 科)	年間
	④ICT (情報通信技術) を活用した指導方法に係る技術、情報の普及	教務部	年間
	⑤生徒の授業アンケートを実施し、授業に反映	教務部・教務部教育研究担当	7 月・12 月
Ⅲ 生徒の進路目標を実現するための方策を組織的・計画的に展開			
1. 学力の向上に向けて具体的な進路数値目標を設定し、必要な方策を組織的、計画的に展開している。	①四年制大学進学率数値目標の設定と各学年との連携強化	進路部・学年主任	年間
	②教科ごとの模試偏差値到達目標値の設定と効果的な学力指導の推進	進路部・教務部・教科	年間
	③入試に向けて各学年の学力到達目標に即した補習計画の作成	進路部・教務部	各学期
	④進路シラバスに基づき進捗状況を学期ごとに相互確認	進路部・教務部・学年主任・教科	4 月・9 月・12 月
	⑤模試分析結果を教科指導内容や補習、週末課題等に速やかに反映	進路部・教務部・教科	各模試終了後
	⑥進路別小論文指導の充実	進路部	年間
2. キャリア教育が適切に推進されている。	①キャリア教育に係る進路シラバスの作成	進路部	4 月
	②広島修道大学とのキャリア教育に係る連携の強化 (広島修道大学主催行事への参加促進も含む)	進路部・中学・学年主任	年間
3. 生徒・保護者のニーズへ迅速に対応している。	①保護者を対象としたキャリアセミナーの実施	進路部・中学・学年主任	年 2 回
	②「進路のしおり」等による保護者・生徒への情報発信	進路部	年間
4. 「修大コース」新設に向	①コース内容充実のための検討会の	管理職・教務部・	10 月

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
けて教育内容の充実を図り、広報活動が積極的に行われている。 【重点事業】 IV 社会人として必要な資質・能力の育成	実施 ②効果的な広報のための検討会の実施	修大コース主任 管理職・企画部・ 修大コース主任	年間
1. 生徒の学校生活の活性化を積極的に図っている。	①生徒自治会役員の行事企画能力（体育祭・文化祭等）、運営・実践能力の向上指導 ②生徒自治会主催の活動（挨拶・マナーアップ運動等）の徹底 ③生徒自治会の各種委員会活動の活性化（各委員会の定期開催等） ④生徒が主体的に学校行事に参加するための方策の検討と作成	生指部 生指部・学年主任 生指部・学年主任 生指部	年間 各学期始め 年間 6月
2. 強固な意志を練磨するために部活動等の活性化を図っている。	①部活動加入率を高めるための積極的な活動の実施 ②部活動所属生徒の在籍、退部状況調査の実施とその分析	生指部・学年主任 生指部	4月 12月
3. 自律心や規範意識・徳性などを育むための生徒指導等を組織的・計画的に展開している。	①全教職員による服装、身だしなみ、挨拶等の指導の徹底のための強化旬間の設定 ②安全指導（交通安全・薬物・校内安全等）、性教育、身だしなみ指導等の徹底のための講演会の実施 ③自転車通学生を対象とした交通安全教室等の実施 ④全校集会、学年集会等を通じた自立心、規範意識、徳性の涵養 ⑤遅刻防止指導の徹底と保護者への周知徹底 ⑥生徒の携帯・スマートフォン・SNS等の適切な使用についての指導	生指部・学年主任 生指部 生指部 生指部・学年主任 生指部・学年主任 生指部	各学期2回 各年1回 4月 適宜 年間 各学期
4. 生徒の自立心を育むために、教育相談活動等の充実を図っている。	①スクールカウンセラーの積極的な活用とスクールカウンセラーと連携した担任による個別面談の実施 ②スクールカウンセラーと各学年との連携のための連絡会の設置	生指部・学年主任 生指部・学年主任	年間 各学期
5. 中途退学者の抑制に努めている。	①中途退学者防止のための関係者会議での情報共有と早期対応	生指部・学年主任・事務部	年間
6 国際交流活動・国際理解教育を組織的、計画的に推進している。	①広島修道大学との連携による各種国際交流活動の企画と推進 ②中学海外修学旅行における事前学習の充実	庶務部・中学 中学	年間 年間

主要項目	具 体 策	所管部局	実施月
<p>【重点事業】</p> <p>V 教育ニーズの把握と情報発信により、保護者・地域から信頼される学校づくり</p> <p>1. 年間を通じて組織的・計画的な情報発信を展開している。</p> <p>2. 保護者と教職員との信頼関係が構築されている。</p> <p>3. 組織的・計画的な広報活動により多くの受験志願者を獲得している。</p>	<p>③グローバル教育の充実に係る校内研修会を広島修道大学等と連携し年1回実施</p> <p>①学校に係る情報の積極的な発信（ホームページ、「学校通信」、「学年通信」、「進路のしおり」等）</p> <p>②三鈴会、同窓会への学校に係る情報発信と連携強化</p> <p>③地域への学校に係る情報の積極的な発信と連携強化</p> <p>④広島修道大学との連携による地域貢献活動の充実（「エンジョイ鈴峯」等の内容の充実と新規活動の検討）</p> <p>①三鈴会活動への積極的な協力関係の構築</p> <p>②保護者・生徒アンケートの実施</p> <p>①オープンスクール、学校説明会等の内容充実</p> <p>②学校・塾訪問等による募集活動の強化</p> <p>③広島修道大学との連携による効果的な情報発信</p>	<p>庶務部</p> <p>企画部・庶務部・進路部・学年主任</p> <p>庶務部・事務部</p> <p>庶務部・事務部</p> <p>庶務部</p> <p>庶務部</p> <p>教務部</p> <p>企画部</p> <p>企画部</p> <p>企画部</p>	<p>年1回</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>1学期中</p> <p>2学期</p> <p>年間</p> <p>年間</p> <p>年間</p>